様　式　E

平成30年度 修繕費 事業計画書

予算科目	担当
款: 02 高速鉄道事業　項: 01 営業費用　目: 60 運輸管理費 節・細節: 費40 修繕費	所属: 経営企画 課担当者: 長岡

（単位:千円）

	30年度 A	29年度 B	増△減(A−B)
予算額	[redacted]	0	[redacted]

	ﾌﾞﾙｰﾗｲﾝ
	ｸﾞﾘｰﾝﾗｲﾝ
○	共通

（単位:千円）

【事業内容】	30年度予算額
1　固定資産管理システム改元対応	[redacted]

中期経営計画　－

（1 事業目的・内容）

●固定資産管理システムの概要
固定資産管理システムは、交通局が保有する固定資産の管理に使用しています。固定資産を取得・除却した際の固定資産台帳への登録作業とそれに伴う毎年度の減価償却費・除却損の計算や、固定資産を取得・除却した際の補助金の登録作業とそれに伴う毎年度の長期前受金収益化額の計算など、固定資産の管理に係る作業の全てを本システムを使用して行っています。
決算時には本システムから出力された帳票をもとに財務会計システムへの入力を行うとともに貸借対照表の作成に使用しているほか、予算時にも減価償却費等の予算額の計算や、長期収支見通しにおける減価償却費等の推計などに使用していることから、当局の予算・決算業務において必要不可欠なシステムとなっています。
現行の固定資産管理システムは、平成26年度の地方公営企業会計基準の見直しにあわせて平成25年度に導入したものです。

●平成30年度の作業内容
平成31(2019)年以降に元号の変更(改元)が行われる可能性がありますが、改元が行われた場合、本システムについても画面表示機能及び帳票出力機能を新たな元号に対応させる必要があります。
平成30年度は、改元に対応するためのプログラム修正及び設定変更の費用を予算計上することとします。

（2 前年度から変更・見直しした点）

新規計上します。

（3 根拠法令・規程、現場の意見等）

様　式　E

平成30年度　修繕費　事業計画書

予算科目	担当
款: 02　高速鉄道事業費　項: 01　営業費用　目: 60　運輸管理費 節・細節: 40　修繕費	所属: 能力開発センター 担当者: 土谷、岩岡、坂井

（単位:千円）

	30年度　A	29年度　B	増△減(A-B)
予　算　額	[redacted]	260	[redacted]

○	ﾌﾞﾙｰﾗｲﾝ
	ｸﾞﾘｰﾝﾗｲﾝ
	共通

（単位:千円）

【事業内容】	30年度予算額
1　シミュレータ保守点検	[redacted]

中期経営計画　－

（1　事業目的・内容）

【ブルーライン3000A形シミュレータ保守点検】
平成25年度に更新されたBL3000A形の運転シミュレータ装置について、今後長期にわたり継続して使用していくため保守点検を実施します。

（2　前年度から変更・見直しした点）

29年度実績を基に積算した。

（3　根拠法令・規程、現場の意見等）

様　式　E

平成30年度　修繕費　事業計画書

予算科目	担当
款: 02　高速鉄道事業費　項: 01　営業費用　目: 60　運輸管理費 節・細節: 40　修繕費	所属: 能力開発センター 担当者: 土谷、岩岡、坂井

（単位:千円）

	30年度　A	29年度　B	増△減(A-B)
予　算　額	[redacted]	260	[redacted]

	ﾌﾞﾙｰﾗｲﾝ
○	ｸﾞﾘｰﾝﾗｲﾝ
	共通

（単位:千円）

【事業内容】	30年度予算額
1　シミュレータ保守点検	[redacted]

中期経営計画　－

（1　事業目的・内容）

【グリーンライン10000形シミュレータ保守点検】
平成27年度に新設されたGL10000形の運転シミュレータ装置について、今後長期にわたり継続して使用していくため保守点検を実施します。

（2　前年度から変更・見直しした点）

29年度実績を基に積算した。

（3　根拠法令・規程、現場の意見等）

様　式　E

平成30年度　修繕費　事業計画書

予算科目	担当
款：02　高速鉄道事業費　項：01　営業費用　目：60　運輸管理費 節・細節：40　修繕費	所属：事業開発課 担当者：瀬谷、廣瀬

（単位：千円）

	30年度　A	29年度　B	増△減(A−B)
予　算　額	[redacted]	570	[redacted]

○	ﾌﾞﾙｰﾗｲﾝ
	ｸﾞﾘｰﾝﾗｲﾝ
	共通

（単位：千円）

【事業内容】　30年度予算額

1　LED広告看板修理事業（BL）　[redacted]

中期経営計画　地方公営企業としての責任と経営基盤の強化（6）附帯事業収入の確保・増収対策

（1　事業目的・内容）

ブルーライン駅構内に設置されているLED広告看板の修理経費を計上します。

予定金額

路線	単価	予定数量	予定金額
BL	[redacted]	3	[redacted]
GL		16	
計	−	19	

LED看板設置数

路線	数量
BL	38
GL	135
計	173

（2　前年度から変更・見直しした点）

（3　根拠法令・規程、現場の意見等）

様　式　E

平成30年度　修繕費　事業計画書

予算科目	担当
款：02　高速鉄道事業費　項：01　営業費用　目：60　運輸管理費 節・細節：40　修繕費	所属：事業開発課 担当者：瀬谷、廣瀬

（単位：千円）

	30年度　A	29年度　B	増△減(A−B)
予　算　額	[redacted]	1,824	[redacted]

	ﾌﾞﾙｰﾗｲﾝ
○	ｸﾞﾘｰﾝﾗｲﾝ
	共通

（単位：千円）

【事業内容】　30年度予算額

1　LED広告看板修理事業（GL）　[redacted]

中期経営計画　地方公営企業としての責任と経営基盤の強化（6）附帯事業収入の確保・増収対策

（1　事業目的・内容）

グリーンライン駅構内に設置されているLED広告看板の修理経費を計上します。

予定金額

路線	単価	予定数量	予定金額
BL	[redacted]	3	[redacted]
GL		16	
計	−	19	

LED看板設置数

路線	数量
BL	38
GL	135
計	173

（2　前年度から変更・見直しした点）

（3　根拠法令・規程、現場の意見等）

様 式 A

平成30年度 経費 事業計画書

予算科目	担当
款: 02 高速鉄道事業費　項: 01 営業費用 目: 60 運輸管理費	所属: 総務課 担当者名: 今井、西川、田中、松本、武田

（単位:千円）

	30年度 A	29年度 B	増△減 A － B
予算額	4,966	4,898	68

	ﾌﾞﾙｰﾗｲﾝ
	ｸﾞﾘｰﾝﾗｲﾝ
○	共通

【積算内容】

（1 科目別積算内容）

節別科目名	積算額	積算項目
56 旅費	429	関東出改札システム協議会・総会、サイバネティクス協議会
60 負担金	4,477	関東出改札システム協議会・年会費、地下鉄協会費等
64 手数料	60	関東出改札システム講習会
合計	4,966	

（2 編成するにあたっての考え方）

平成28年度実績を基に算出しました。
科目を路線別から見直し。

（3 新規項目・主要事業等）

様 式 A

平成30年度 経費 事業計画書

予算科目	担当
款: 02 高速鉄道事業費　項: 01 営業費用 目: 60 運輸管理費	所属: 総務課 担当者名: 今井、西川、田中、武田

（単位:千円）

	30年度 A	29年度 B	増△減 A － B
予算額	24,771	28,919	△ 4,148

○	ﾌﾞﾙｰﾗｲﾝ
	ｸﾞﾘｰﾝﾗｲﾝ
	共通

【積算内容】

（1 科目別積算内容）

節別科目名	積算額	積算項目
49 備消品費	8,401	システム備品費、OA端末購入等
63 委託料	16,370	地下鉄後方業務支援システム保守業務委託、多目的デジタル案内板保守業務委託等
合計	24,771	

（2 編成するにあたっての考え方）
平成28年度実績を基に算出しました。

（3 新規項目・主要事業等）
OA端末購入、OAソフト購入、多目的デジタル案内板保守業務委託、地下鉄運行ポータル保守

様 式 A

平成30年度 経費 事業計画書

予算科目	担当
款: 02 高速鉄道事業費　項: 01 営業費用 目: 60 運輸管理費	所属: 総務課 担当者名: 今井、西川、田中、松本、武田

（単位:千円）

	30年度 A	29年度 B	増△減 A － B
予算額	7,984	9,014	△ 1,030

	ﾌﾞﾙｰﾗｲﾝ
○	ｸﾞﾘｰﾝﾗｲﾝ
	共通

【積算内容】

（1 科目別積算内容）

節別科目名	積算額	積算項目
49 備消品費	2,729	システム備品費、OA端末購入等
63 委託料	5,255	地下鉄後方業務支援システム保守業務委託、多目的デジタル案内板保守業務委託等
合計	7,984	

（2 編成するにあたっての考え方）

平成28年度実績を基に算出しました。

（3 新規項目・主要事業等）

OA端末購入、OAソフト購入、多目的デジタル案内板保守業務委託、地下鉄運行ポータル保守

様 式 A

平成30年度 経費 事業計画書

予　算　科　目	担当
款: 02 高速鉄道事業費　項: 01 営業費用 目: 60 運輸管理費	所属: 経営企画課 担 当 者 名: 中川・石川

（単位:千円）

	30年度 A	29年度 B	増△減 A － B
予算額		11,300	

	ﾌﾞﾙｰﾗｲﾝ
	ｸﾞﾘｰﾝﾗｲﾝ
○	共通

【積算内容】

（1 科目別積算内容）

節別科目名	積 算 額	積　算　項　目
49 備消品費		固定資産用シール
60 負担金	9,243	乗車料収入等の検銭に係る費用、予算書及び決算書合本等負担金
64 手数料	13	固定資産管理システムで使用するデータベース管理ソフトのサポートサービス費用
96 雑費	2,000	自主企画事業支援制度
合　計		

（2 編成するにあたっての考え方）

・29年度執行実績をもとに、必要額を計上

（3 新規項目・主要事業等）

様 式 A

平成30年度 経費 事業計画書

予　算　科　目	担当
款: 02 高速鉄道事業費　項: 01 営業費用 目: 60 運輸管理費	所属: 経営企画課 担 当 者 名: 八鍬

（単位:千円）

	30年度 A	29年度 B	増△減 A － B
予算額		7,969	

○	ﾌﾞﾙｰﾗｲﾝ
	ｸﾞﾘｰﾝﾗｲﾝ
	共通

【積算内容】

（1 科目別積算内容）

節別科目名	積 算 額	積　算　項　目
63 委託料		乗車料収入の集金に係る費用
合　計		

（2 編成するにあたっての考え方）

・28年度執行実績をもとに、必要額を計上

（3 新規項目・主要事業等）

様 式 A

平成30年度 経費 事業計画書

予　算　科　目	担当
款: 02 高速鉄道事業費　項: 01 営業費用 目: 60 運輸管理費	所属: 経営企画課 担 当 者 名: 八鍬

（単位:千円）

	30年度 A	29年度 B	増△減 A － B
予算額		1,625	

	ﾌﾞﾙｰﾗｲﾝ
○	ｸﾞﾘｰﾝﾗｲﾝ
	共通

【積算内容】

（1 科目別積算内容）

節別科目名	積 算 額	積　算　項　目
63 委託料		乗車料収入等の集金に係る費用
合　計		

（2 編成するにあたっての考え方）

・28年度執行実績をもとに、必要額を計上

（3 新規項目・主要事業等）

様 式 A

平成30年度 経費 事業計画書

予 算 科 目	担当
款: 02 高速鉄道事業費 項: 01 営業費用 目: 60 運輸管理費	所属: 人事課 担 当 者 名: 星野

（単位:千円）

	30年度 A	29年度 B	増△減 A － B
予算額	1,324	187	1,137

	ﾌﾞﾙｰﾗｲﾝ
	ｸﾞﾘｰﾝﾗｲﾝ
○	共通

【積算内容】

（1 科目別積算内容）

節別科目名	積 算 額	積 算 項 目
49 備消品費	630	クレペリン検査用紙、うがい器更新
64 手数料	160	運転適性検査講習会
96 雑費	534	予防接種費用助成
合 計	1,324	

（2 編成するにあたっての考え方）

（3 新規項目・主要事業等）

様 式 A

平成30年度 経費 事業計画書

予算科目	担当
款: 02 高速鉄道事業費　項: 01 営業費用 目: 60 運輸管理費	所属: 人事課 担当者名: 星野

（単位:千円）

	30年度 A	29年度 B	増△減 A － B
予算額	826	941	△ 115

○	ﾌﾞﾙｰﾗｲﾝ
	ｸﾞﾘｰﾝﾗｲﾝ
	共通

【積算内容】

（1 科目別積算内容）

節別科目名	積算額	積算項目
50 被服費	826	運輸管理費支弁職員に対する被服貸与（新規採用・異動・定期貸与）
合計	826	

（2 編成するにあたっての考え方）

（3 新規項目・主要事業等）

様 式 A

平成30年度 経費 事業計画書

予算科目	担当
款: 02 高速鉄道事業費　項: 01 営業費用 目: 60 運輸管理費	所属: 人事課 担当者名: 星野

（単位:千円）

	30年度 A	29年度 B	増△減 A － B
予算額	267	286	△ 19

	ﾌﾞﾙｰﾗｲﾝ
○	ｸﾞﾘｰﾝﾗｲﾝ
	共通

【積算内容】

（1 科目別積算内容）

節別科目名	積算額	積算項目
50 被服費	267	運輸管理費支弁職員に対する被服貸与（新規採用・異動・定期貸与）
合計	267	

（2 編成するにあたっての考え方）

（3 新規項目・主要事業等）

様 式 A

平成30年度 経費 事業計画書

予算科目	担当
款: 02 高速鉄道事業費　項: 01 営業費用 目: 60 運輸管理費	所属: 能力開発センター 担当者名: 土谷、岩岡、坂井

（単位:千円）

	30年度 A	29年度 B	増△減 A － B
予算額	3,472	3,701	△ 229

	ﾌﾞﾙｰﾗｲﾝ
	ｸﾞﾘｰﾝﾗｲﾝ
○	共通

【積算内容】

（1 科目別積算内容）

節別科目名	積算額	積算項目
49 備消品費	16	運転法規研修講座テキスト代、運転理論研修講座テキスト代
56 旅費	1,947	運転士養成科に関わる旅費、動力車操縦者養成担当者連絡協議会に関わる旅費
58 印刷製本費	730	動力車操縦者養成科教科書、技能訓練指導要領
60 負担金	263	動力車操縦者養成担当者連絡協議会 会議費、資料作成費
64 手数料	128	運転法規研修講座受講料、運転理論研修講座受講料、運転免許申請料
65 賃借料	360	運転士養成科宿泊研修 会議室使用料、貸切バス料金
96 雑費	28	運転士養成科宿泊研修 諸費用
合計	3,472	

（2 編成するにあたっての考え方）

運転士養成科は養成可能人数を20名から25名に増員したため、上限である25名で積算。
年度内の2期養成は行わない。

（3 新規項目・主要事業等）

○運転士養成科で使用する残部数の少ない教科書の増刷
○運転士養成科技能講習中の宿泊研修（メンタルフォロー研修）の移動手段を貸切バスに変更

様 式 A

平成30年度 経費 事業計画書

予　算　科　目	担当
款: 02 高速鉄道事業費　項: 01 営業費用 目: 60 運輸管理費	所属: 安全管理課 担 当 者 名: 小尾・米長

（単位:千円）

	30年度 A	29年度 B	増△減 A － B
予算額	83	12	71

	ﾌﾞﾙｰﾗｲﾝ
	ｸﾞﾘｰﾝﾗｲﾝ
○	共通

【積算内容】

（1 科目別積算内容）

節別科目名	積 算 額	積　算　項　目
49 備消品費	9	内部監査員研修テキスト料
64 手数料	62	内部監査員研修受講料
96 雑費	12	被害者等支援費
合　計	83	

（2 編成するにあたっての考え方）

（3 新規項目・主要事業等）

様 式 A

平成30年度 経費 事業計画書

予算科目	担当
款: 02 高速鉄道事業費　項: 01 営業費用 目: 60 運輸管理費	所属: 事業開発課 担当者名: 星野、石黒、瀬谷

（単位:千円）

	30年度 A	29年度 B	増△減 A － B
予算額	14,492	108,952	△ 94,460

	ﾌﾞﾙｰﾗｲﾝ
	ｸﾞﾘｰﾝﾗｲﾝ
○	共通

【積算内容】

（1 科目別積算内容）

節別科目名	積算額	積算項目
57 通信運搬費	344	広告管理システムデータ通信費等
60 負担金	250	公募売却要領印刷費負担金等
63 委託料	13,898	ポータルサイト運営管理、経営診断料、広告媒体管理業務、広告管理システム保守
合計	14,492	

（2 編成するにあたっての考え方）

28年度決算、29年度見込み等をもとに計上

（3 新規項目・主要事業等）

様 式 A

平成30年度 経費 事業計画書

予算科目	担当
款: 02 高速鉄道事業費　項: 01 営業費用 目: 60 運輸管理費	所属: 事業開発課 担当者名: 星野、石黒、瀬谷

（単位:千円）

	30年度 A	29年度 B	増△減 A － B
予算額	79,469	87,909	△ 8,440

○	ﾌﾞﾙｰﾗｲﾝ
	ｸﾞﾘｰﾝﾗｲﾝ
	共通

【積算内容】

（1 科目別積算内容）

節別科目名	積算額	積算項目
49 備消品費	608	広告看板管球購入経費ほか
63 委託料	53,744	測量、不動産鑑定評価、広告掲出及び撤去作業ほか
64 手数料	2,503	神奈川新聞ニュース配信料
96 雑費	22,614	道路占用料（光ケーブル、構内営業関係、広告看板）
合計	79,469	

（2 編成するにあたっての考え方）

28年度決算、29年度見込み等をもとに計上

（3 新規項目・主要事業等）

駅美観及び広告媒体価値を向上させるため、空き広告枠に業務掲示を行います。

様 式 A

平成30年度 経費 事業計画書

予算科目	担当
款: 02 高速鉄道事業費　項: 01 営業費用 目: 60 運輸管理費	所属: 事業開発課 担当者名: 星野、石黒、瀬谷

（単位:千円）

	30年度 A	29年度 B	増△減 A － B
予算額	29,913	36,108	△ 6,195

	ﾌﾞﾙｰﾗｲﾝ
○	ｸﾞﾘｰﾝﾗｲﾝ
	共通

【積算内容】

（1 科目別積算内容）

節別科目名	積算額	積算項目
63 委託料	26,476	川和車両基地・東山田駅外周道路測量、広告掲出及び撤去作業等
64 手数料	1,278	神奈川新聞ニュース配信料
96 雑費	2,159	道路占用料（構内営業、広告看板）
合計	29,913	

（2 編成するにあたっての考え方）

28年度決算、29年度見込み等をもとに計上

（3 新規項目・主要事業等）

様 式 A

平成30年度 経費 事業計画書

予算科目	担当
款: 02 高速鉄道事業費　項: 01 営業費用 目: 60 運輸管理費	所属: 営業・観光企画課 担当者名: 岸・土田・上田

（単位：千円）

	30年度 A	29年度 B	増△減 A － B
予算額		73,050	

	ﾌﾞﾙｰﾗｲﾝ
	ｸﾞﾘｰﾝﾗｲﾝ
○	共通

【積算内容】

（1 科目別積算内容）

節別科目名	積算額	積算項目
46 乗車券・帳表類	600	乗車券製作費
49 備消品費	300	タイアップ及び独自イベント備品消耗品費
57 通信運搬費	534	タイアップ通信運搬費、クレジット決済システム通信費
58 印刷製本費		オートチャージ申込書印刷費
60 負担金	124	オートチャージ未利用会員管理費・新規発行費
63 委託料	21,870	クレジット決済システム委託料・Webサイト運営
64 手数料	13,218	クレジット決済手数料、オートチャージ手数料
74 広告宣伝費	26,386	業務用ポスター製作費、イベント・タイアップPR費、商店街連携費、オリジナルグッズ製作費、ハマエコポイント3倍原資ほか
96 雑費	25	タイアップ損害保険加入費
合計		

（2 編成するにあたっての考え方）

「ハマエコカード事業」は、お客様サービス向上のため、平成20年度から「定期券クレジット決済サービス」を開始し、三井住友カード㈱と提携した自社カードを発行しています。30年度においても、引き続き、会員獲得、利用促進に努め、カード事業を通じて、お客様の利便性向上とサービス還元に取り組むとともに、提携店を通じて地域活性化を狙います。

「沿線商店街の魅力発信事業」は、市営交通の利用促進につながるよう、他区局や局広報担当と連携し地元メディア等を通じて、沿線商店街の魅力を幅広く発信します。

「バス・地下鉄利用促進事業」は、市営交通のプレゼンス・ブランド力を向上させ企業価値を高めること、定期外の利用促進、広告の出稿増などによる収入増を目的に、地元プロスポーツチームや企業等とのタイアップ企画、市を挙げた文化・観光・スポーツイベントとの連携企画、時節を捉えた企画乗車券の企画・販売など、更なる事業の充実・強化を図ります。他にも、事業PRのための業務用ポスター製作や、交通局をPRするためのグッズ類の製作・販売等、交通局の新たなイメージを発信し、将来にわたる交通局ファンの獲得と増収に取り組みます。

上記の考え方と平成29年度実績をもとに、平成30年度予算を編成しました。

（3 新規項目・主要事業等）

○100周年に向けてオリジナルグッズの制作や、独自イベントPRの拡充

様 式 A

平成30年度 経費 事業計画書

予算科目	担当
款: 02 高速鉄道事業費　項: 01 営業費用 目: 60 運輸管理費	所属: 営業・観光企画課 担当者名: 有賀・橋本・石田

（単位:千円）

	30年度 A	29年度 B	増△減 A － B
予算額		6,600	

○	ﾌﾞﾙｰﾗｲﾝ
	ｸﾞﾘｰﾝﾗｲﾝ
	共通

【積算内容】

（1 科目別積算内容）

節別科目名	積算額	積算項目
46 乗車券・帳表類	306	みなとぶらりチケット
49 備消品費		日付スタンプ
60 負担金	9	コンベンション・ビューロー賛助会員会費等
63 委託料	325	ドメイン・SSL維持・管理・更新、ウェブサイト改修、翻訳
74 広告宣伝費	999	リーフレットデザイン・作成、特典提供店舗の一覧作成
合計		

（2 編成するにあたっての考え方）

<みなとぶらりチケット事業>

29年度は、28年度実施の観光系路線バス再編の定着を図り、更なる利用促進のための基盤づくりを実施しました。

①「みなとぶらりチケット」認知を目的としたPRポスター製作
②販売拠点の拡大（新横浜観光案内所・ヤマト運輸横浜東ロクロック 等）
③魅力ある特典提供店舗の拡大（馬車道十番館・キタムラ 等）
④インバウンド対応強化のため、リーフレットの対応言語拡大（日・英・中(簡体字・繁体字)・韓・タ）
⑤観光モデルコースのPRチラシ製作

30年度は、これらの基盤を活用した更なる利用促進を図ります。具体的には、特典提供店舗の魅力を前面に出した一覧の作成などを実施し、販売促進につなげます。

（3 新規項目・主要事業等）

○ みなとぶらりチケット特典提供店舗の一覧作成

様 式 A

平成30年度 経費 事業計画書

予算科目	担当
款: 02 高速鉄道事業費　項: 01 営業費用 目: 60 運輸管理費	所属: 営業課(高速) 担当者名: 筒井、大岡

（単位:千円）

	30年度 A	29年度 B	増△減 A － B
予算額	229,977	231,905	△ 1,928

	ﾌﾞﾙｰﾗｲﾝ
	ｸﾞﾘｰﾝﾗｲﾝ
○	共通

【積算内容】

（1 科目別積算内容）

節別科目名	積算額	積算項目
46 乗車券・帳表類	100	企画乗車券
49 備消品費	360	事務用品、他
53 乗車券販売手数料	655	共通一日乗車券販売手数料
56 旅費	479	定例市外・市内出張旅費、他
60 負担金	1,021	鉄道の日出店費用、他
63 委託料	66,012	定期券発売委託、他
64 手数料	157,000	PASMOデータ利用手数料
74 広告宣伝費	4,200	マナー啓発関係、他
96 雑費	150	タクシー借り上げ料
合計	229,977	

（2 編成するにあたっての考え方）

・事業の必要性や効果等を考慮し、必要な額を計上

（3 新規項目・主要事業等）

様 式 A

平成30年度 経費 事業計画書

予算科目	担当
款: 02 高速鉄道事業費　項: 01 営業費用 目: 60 運輸管理費	所属: 営業課(高速) 担当者名: 筒井、大岡

（単位:千円）

	30年度 A	29年度 B	増△減 A － B
予算額	336,485	298,807	37,678

○	ﾌﾞﾙｰﾗｲﾝ
	ｸﾞﾘｰﾝﾗｲﾝ
	共通

【積算内容】

（1 科目別積算内容）

節別科目名	積算額	積算項目
60 負担金	3,623	上大岡ガーデンスクウェア(ミオカリスト館)、他
63 委託料	327,499	駅清掃委託、他
65 賃借料	2,363	上大岡駅再開発ビル使用料
74 広告宣伝費	3,000	快速運転実施に伴う戦略的広報費
合計	336,485	

（2 編成するにあたっての考え方）

・事業の必要性や効果等を考慮し、必要な額を計上

（3 新規項目・主要事業等）

・駅清掃業務委託については、より品質を上げるために内容の見直しを実施

・日常の清掃に加えて、新たに床面や配管など、特に汚れが蓄積しやすい箇所を重点的に清掃するトイレの特別清掃を実施予定

様 式 A

平成30年度 経費 事業計画書

予算科目	担当
款: 02 高速鉄道事業費　項: 01 営業費用 目: 60 運輸管理費	所属: 営業課(高速) 担当者名: 筒井、大岡

（単位:千円）

	30年度 A	29年度 B	増△減 A － B
予算額	89,182	83,858	5,324

	ﾌﾞﾙｰﾗｲﾝ
○	ｸﾞﾘｰﾝﾗｲﾝ
	共通

【積算内容】

（1 科目別積算内容）

節別科目名	積算額	積算項目
60 負担金	15,869	日吉駅連絡施設保守管理
63 委託料	73,313	駅清掃委託、他
合計	89,182	

（2 編成するにあたっての考え方）

・事業の必要性や効果等を考慮し、必要な額を計上

（3 新規項目・主要事業等）

・駅清掃業務委託については、より品質を上げるために内容の見直しを実施

・日常の清掃に加えて、新たに床面や配管など、特に汚れが蓄積しやすい箇所を重点的に清掃するトイレの特別清掃を実施予定

様 式 A

平成30年度 経費 事業計画書

予 算 科 目	担当
款: 02 高速鉄道事業費 項: 01 営業費用 目: 60 運輸管理費	所属: 運転課 担 当 者 名: 平澤

（単位:千円）

	30年度 A	29年度 B	増△減 A － B
予算額	3,187	1,888	1,299

	ﾌﾞﾙｰﾗｲﾝ
	ｸﾞﾘｰﾝﾗｲﾝ
○	共通

【積算内容】

（1 科目別積算内容）

節別科目名	積 算 額	積 算 項 目
49 備消品費	164	各種講習会教材費
56 旅費	1,212	各種協議会出席費用
57 通信運搬費	360	JR電話費用
58 印刷製本費	210	第三者暴力防止ポスター、鉄道人身事故防止ポスター
60 負担金	194	各種協議会出席費用
64 手数料	847	各種講習会受講料
68 保険料	5	異常時総合訓練イベント保険
96 雑費	195	賠償連絡協議会・運転業務研究会貸切バス借上げ費用
合 計	3,187	

（2 編成するにあたっての考え方）

・人材育成を目的とした各種協議会及び講習会の出席
・他鉄道事業者との共同での取り組みにおける費用

（3 新規項目・主要事業等）

様 式 A

平成30年度 経費 事業計画書

予算科目	担当
款: 02 高速鉄道事業費　項: 01 営業費用 目: 60 運輸管理費	所属: 運転課 担当者名: 平澤

（単位:千円）

	30年度 A	29年度 B	増△減 A － B
予算額		15,204	

○	ﾌﾞﾙｰﾗｲﾝ
	ｸﾞﾘｰﾝﾗｲﾝ
	共通

【積算内容】

（1 科目別積算内容）

節別科目名	積算額	積算項目
59 事故費	450	損害賠償金
63 委託料		ダイヤ改正効果検証及び次期ダイヤ改正に向けた課題抽出
68 保険料	1,840	団体鉄道賠償責任保険
合計		

（2 編成するにあたっての考え方）

・快速運転実施の効果検証、今後の運行計画の基礎とするデータの作成
・事故対応準備関係

（3 新規項目・主要事業等）

様 式 A

平成30年度 経費 事業計画書

予算科目	担当
款: 02 高速鉄道事業費　項: 01 営業費用 目: 60 運輸管理費	所属: 運転課 担当者名: 平澤

（単位:千円）

	30年度 A	29年度 B	増△減 A － B
予算額	852	10,460	△ 9,608

	ﾌﾞﾙｰﾗｲﾝ
○	ｸﾞﾘｰﾝﾗｲﾝ
	共通

【積算内容】

（1 科目別積算内容）

節別科目名	積算額	積算項目
59 事故費	260	損害賠償金
68 保険料	592	団体鉄道賠償責任保険
合計	852	

（2 編成するにあたっての考え方）

・事故対応準備関係

（3 新規項目・主要事業等）

様 式 A

平成30年度 経費 事業計画書

予　算　科　目	担当
款: 02 高速鉄道事業費　項: 01 営業費用 目: 60 運輸管理費	所属: 駅務管理所 担 当 者 名: 並木

（単位:千円）

	30年度 A	29年度 B	増△減 A － B
予算額		17,362	

○	ﾌﾞﾙｰﾗｲﾝ
	ｸﾞﾘｰﾝﾗｲﾝ
	共通

【積算内容】

（1 科目別積算内容）

節別科目名	積 算 額	積　算　項　目
46 乗車券・帳表類	14,140	乗車券（普通券、定期券、一日券等）の作成
59 事故費	295	定例賠償金
68 保険料		運送及び動産保険料
合　　計		

（2 編成するにあたっての考え方）

（3 新規項目・主要事業等）

様 式 A

平成30年度 経費 事業計画書

予 算 科 目	担当
款: 02 高速鉄道事業費 項: 01 営業費用 目: 60 運輸管理費	所属: 駅務管理所 担 当 者 名: 並木

（単位:千円）

	30年度 A	29年度 B	増△減 A － B
予算額		5,571	

	ﾌﾞﾙｰﾗｲﾝ
○	ｸﾞﾘｰﾝﾗｲﾝ
	共通

【積算内容】

（1 科目別積算内容）

節別科目名	積 算 額	積 算 項 目
46 乗車券・帳表類	4,538	乗車券（普通券、定期券、一日券等）の作成
59 事故費	89	定例賠償金
68 保険料		運送及び動産保険料
合 計		

（2 編成するにあたっての考え方）

（3 新規項目・主要事業等）

様 式 A

平成30年度 経費 事業計画書

予　算　科　目	担当
款: 02 高速鉄道事業費　項: 01 営業費用 目: 60 運輸管理費	所属: 上永谷乗務管理所 担 当 者 名: 北爪 純一

（単位:千円）

	30年度 A	29年度 B	増△減 A － B
予算額	80	80	0

○	ﾌﾞﾙｰﾗｲﾝ
	ｸﾞﾘｰﾝﾗｲﾝ
	共通

【積算内容】

（1 科目別積算内容）

節別科目名	積 算 額	積　算　項　目
59 事故費	80	事故処理用前渡金
合　計	80	

（2 編成するにあたっての考え方）

（3 新規項目・主要事業等）

様 式 A

平成30年度 経費 事業計画書

予算科目	担当
款: 02 高速鉄道事業費　項: 01 営業費用 目: 60 運輸管理費	所属: 新羽乗務管理所 担当者名: 半田 邦正

（単位:千円）

	30年度 A	29年度 B	増△減 A － B
予算額	50	50	0

○	ﾌﾞﾙｰﾗｲﾝ
	ｸﾞﾘｰﾝﾗｲﾝ
	共通

【積算内容】

（1 科目別積算内容）

節別科目名	積算額	積算項目
59 事故費	50	高速鉄道に係る簡易な事故等の前渡金支出
合計	50	

（2 編成するにあたっての考え方）

（3 新規項目・主要事業等）

様 式 A

平成30年度 経費 事業計画書

予　算　科　目	担当
款: 02 高速鉄道事業費　項: 01 営業費用 目: 60 運輸管理費	所属: 川和乗務管理所 担 当 者 名: 伊藤

（単位:千円）

	30年度 A	29年度 B	増△減 A － B
予算額	50	50	0

	ﾌﾞﾙｰﾗｲﾝ
○	ｸﾞﾘｰﾝﾗｲﾝ
	共通

【積算内容】

（1 科目別積算内容）

節別科目名	積 算 額	積　算　項　目
59 事故費	50	運転事故に基づく賠償費用
合　計	50	

（2 編成するにあたっての考え方）

（3 新規項目・主要事業等）

様 式 A

平成30年度 経費 事業計画書

予算科目	担当
款: 02 高速鉄道事業費　項: 01 営業費用 目: 60 運輸管理費	所属: 建設改良課 担当者名: 二見・吉田・福岡

（単位:千円）

	30年度 A	29年度 B	増△減 A － B
予算額	135,000	135,000	0

○	ﾌﾞﾙｰﾗｲﾝ
	ｸﾞﾘｰﾝﾗｲﾝ
	共通

【積算内容】

（1 科目別積算内容）

節別科目名	積算額	積算項目
63 委託料	135,000	3号線延伸検討、横浜駅改良検討
合計	135,000	

（2 編成するにあたっての考え方）

（3 新規項目・主要事業等）